

リチウムイオン電池の発火事故に注意

最近では、モバイルバッテリーや電動自転車など、私たちの生活の中でリチウムイオン電池が当たり前に使われるようになりました。便利な一方で、火災や爆発事故が全国で増加しており、消防庁からも注意喚起が出されています。リチウムイオン電池の火災は、ひとたび発生すると急速に燃え広がり、消火が難しいのが特徴です。また、二酸化炭素や一酸化炭素、フッ化水素といった有毒ガスを発生させる危険があり、さらに水に反応することもあるため、消火活動自体にも注意が必要です。便利さの裏に潜む危険性を理解し、正しい知識をもって安全に使うことが、今求められています。

なぜ起きるのか？



| 使用中に発火 | 普段通り使っていても発火したケース |
|------------|------------------------|
| 衝撃・落下による破損 | 衰弱やショートを引き起こして発火 |
| 分解・廃棄処理誤り | 電池を不適切に取り扱う行為 |
| 充電方法の誤り | 正規の充電器を使わず、互換品等を使用した結果 |
| 不明 | 原因が特定できないケースが約 40% |

ごみ処理施設
での火災が多発
しています！



家庭でできる6つの対策

1. 衝撃を与えず、むやみに分解しない
2. 整理整頓された場所で充電する
3. メーカー指定の充電器バッテリーを使う
4. 膨らみ、過熱等の異常を感じたら使用中止
5. 熱がこもりやすい場所での使用は控える
6. 万一に備えて、不燃性ケースに入れて保管

万が一、火災が起きたら

- ・火災や煙が激しい場合は近づかず 119
- ・水や消火器で消火。可能なら水没させる

